

Web Developer Specialization

詳細情報

要件

Web Developer Specialization認定試験を受験するには、Associate Reactive Developer認定資格が必要です。

試験

出題形式：	選択問題
出題数：	30
合格点：	70% (30問中21問正解)
試験時間：	90分 (最大)

実践的な知識やシナリオを中心に出题し、受験者の理解度とプロフェッショナルとしての経験を確認します。各問題につき正解は1つです。不正解でも減点はされません。

試験のトピック

Web Developer Specializationでは、ベストプラクティスと推奨される開発パターン、非同期プロセス、トラブルシューティング、連携とREST API、例外処理とトランザクション処理、チームでの作業方法など、モバイル開発においても有効なWeb開発のトピックを中心に扱います。試験のトピックの詳細については、以下の「試験の準備」セクションをご覧ください。

カテゴリ/トピック	出題数	配点
ベストプラクティス	15	50%
画面	4	13.33%
データ	4	13.33%
クエリ	3	10%
ロジック	4	13.33%
トラブルシューティング	4	13.33%
連携	4	13.33%
外部データベース	2	6.67%
REST API	2	6.67%
例外処理とトランザクション処理	2	6.67%

非同期処理	4	13.33%
チーム作業	1	3.33%

試験の準備

Web Developer Specialization認定試験の準備に最適なのが、「**オンラインリソース**」セクションに挙げたリンク先のオンラインヘルプ/オンライントレーニングでの学習です。

[Advanced Developer Boot Camp](#)の非同期プロセスとベストプラクティスのモジュールも試験の準備に役立ちます。

オンラインリソース

以下のオンラインリソースをぜひご確認ください。リソースには、コース（または特定のモジュール）、オンラインヘルプ、テクニカルノートが含まれます。

- ベストプラクティス（リアクティブWebのみ）
 - [\[オンラインヘルプ\] OutSystemsプラットフォームのベストプラクティス](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] データアーカイブ](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] パフォーマンスのベストプラクティス - データモデル](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] パフォーマンスのベストプラクティス - ロジック](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] パフォーマンスのベストプラクティス - クエリ](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] パフォーマンスに関する10のルール](#)
- トラブルシューティング
 - [\[オンラインヘルプ\] 「アプリケーションのデバッグ」およびセクション内の関連するオンラインヘルプ](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] アクションフロー内の情報のログ](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] REST APIのトラブルシューティングを行う](#)

- [RESTおよびSOAP連携のロギングレベルを設定する](#)
- [\[オンラインヘルプ\] トラブルシューティング用のログを取得する](#)
 - [Service Centerのログ](#)
- [\[オンラインヘルプ\] ログのテーブルおよびビュー](#)
- [\[オンラインヘルプ\] 環境のログと状態を表示する](#)
- 連携
 - [\[オンラインヘルプ\] Integration Builderを使用する](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] Integration Builderを使用して外部データベースと連携する](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] 生成される連携の構造](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] 独自コードでロジックを拡張する](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] REST APIを利用する](#)
 - [1つまたは複数のREST APIメソッドを利用する](#)
 - [REST APIのストラクチャ](#)
 - [シンプルなカスタマイズ](#)
 - [RESTのエラーを処理する](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] REST APIを公開する](#)
 - [REST APIを公開する](#)
 - 公開しているREST APIに[ベーシック/カスタム](#)認証を追加する
 - [REST APIレスポンスをカスタマイズする](#)
 - [REST APIリクエストを前処理する](#)
- 例外処理とトランザクション処理
 - [\[オンラインヘルプ\] 例外を処理する](#)
 - [\[オンラインヘルプ\] トランザクションの処理](#)
- 非同期処理
 - [\[Guided Path\] OutSystemsの非同期機能](#)

- [\[オンラインヘルプ\]「タイマーを使用する」およびセクション内の関連するオンラインヘルプ](#)
- [\[オンラインヘルプ\] タイマー](#)
- [\[オンラインヘルプ\] 軽量プロセスを使用して拡張性の高いデータベースキューイングを設計する](#)
- チーム作業
 - [\[オンラインヘルプ\]「作業内容を統合する」およびセクション内の関連するオンラインヘルプ](#)

申し込み

受験の申し込みはOutSystemsの認定資格ページで行うことができます。

<https://www.outsystems.com/certifications/>

このページで対象の試験を確認し、受験方法（オンラインまたは認定テストセンター）と試験の言語を選択して、[Pre-register（事前登録）] ボタンをクリックします。フォームに必要事項を入力し、記載されている手順に従って申し込みを完了します。

試験の予約変更

試験の予約を変更できるのは予約した試験日時の**48時間前**までです。[OutSystemsの認定資格ページ](#)にアクセスし、受験する試験の横にある[Reschedule（予約変更）] オプションを選択します。試験日時まで**48時間を切ると**、試験の予約を変更できなくなります。この場合、予約した日時で試験を受ける必要があります。試験を受けなかった場合、受験料は返還されません。

予約日時の**15日前**までは、追加料金なしで予約を変更できます。予約日時の14日前から48時間前までに試験の予約を変更すると、25米ドルの追加料金が発生します。

受験

テストセンターで受験できます。試験に申し込む際に、最寄りのテストセンターを調べて予約可能な日時を確認することができます。試験準備がしっかり整った環境で**現地の言語**を話すスタッフからサポートを受けることができるため、快適に受験できます。

オンラインでも受験できるため、試験会場に足を運ぶことなく、都合のよい時間・場所を指定できます。試験には第三者機関の監督が設置され、受験者の物理的環境や仮想環境に問題がないことを確認し、試験が公正かつ公平に実施されるよう監視します。オンライン試験の詳細については、Prometricのユーザーガイドをご覧ください。

<https://www.prometric.com/sites/default/files/2019-10/PrometricProUserGuide.pdf>

オンライン試験の場合、試験監督者からのサポートは英語のみとなります。試験に英語以外の言語を選択した場合に、その言語が反映されるのは試験内容のみです。試験の設定中やサポートが必要な場合に試験監督者とコミュニケーションをとるには、英語にある程度習熟していることが求められます。

再受験

試験に合格しなかった場合は、いつでも次の試験に申し込めます。受験料は通常の額をお支払いください。申し込みは、OutSystemsの[認定資格ページ](#)から行ってください。何かお気づきの点がありましたら、[Support Center](#)からお問い合わせください。

専門資格のバージョン

専門資格はOutSystemsの特定のバージョンに関連付けられています。たとえば、「OutSystems 11のWeb Developer Specialization認定資格」というようになります。

試験の申し込みおよび受験にあたっては、以下の[利用規約](#)をよく読んで同意してください。

ご健闘をお祈りしています。